

# 「縄文のビーナス」国宝指定30周年 15日から記念イベント

## 茅野市尖石縄文考古館

茅野市内から1986年に出土し、95年6月15日に国宝に指定された土偶「縄文のビーナス」が、15日で国宝指定30周年となる。縄文のビーナスを所蔵する市尖石縄文考古館は、指定日に合わせた記念イベントを同館で計画している。記念対談を15日に行

で見つかった。おなか膨らんで尻が大きく張り出し、妊娠した女性の姿を表している。頭は帽子をかぶっているような形で、顔はハート形をして仮面を着けているようにも見え、目は切れ長でつり上がっていることなども特徴。



国宝に指定されてから30周年を迎える土偶「縄文のビーナス」。指定日の15日に合わせた記念イベントが行われる(茅野市尖石縄文考古館提供)

い、国宝指定30周年の「お誕生日の催し」を15〜29日に予定している。

縄文のビーナスは、同市米沢埴原田の棚畑遺跡から出土した。約5000年前の縄文時代中期に作られたとされ、高さ27センチ、重さ2.14キログラムの立像形。ほぼ完全な形

物として日本で初めて国宝に指定された。茅野市関係でも初の国宝となった。

記念対談では、国宝指定に深く関わった元文化庁主任文化財調査官の原田昌幸さんと、縄文のビーナスを発見した同館特別館長の守矢昌文さんが語り合う。「縄文の

八ヶ岳

山麓の土偶の特徴が表現されていることや造形美などが評価され、縄文時代の遺物

## 指定日に対談、29日まで「お誕生日の催し」

「ビーナス」の国宝指定を語る『縄文のビーナス』の発見・再評価のタイトルで、今年度の縄文ゼミナールとして行う。午後1時30分〜3時。参加無料(資料代100円)。展示を見学する場合は観覧料が必要。申し込み不要。定員は当日先着順80人。

お誕生日の催しでは、来館者にお祝いメッセージを書いてボードに貼ってもらったり、二つの国宝土偶「縄文のビーナス」と「仮面の女神」の大型バルーンと一緒に写真を撮ってもらったりする企画を用意。来館した妊婦には、縄文のビーナスが安産を願って作られたと考えられていることにちなみ、縄文のビーナスをあしらったオリジナルしおりと缶バッチを贈る。このほか15日限定で、来館した先着100人にオリジナルしおりをプレゼントする。

ともに問い合わせは同館(電話0266・76・2270)へ。来年1月には記念シンポジウムを開く予定だ。(手塚洋一)